

小林市自殺予防対策推進事業【宮崎県小林市】

(実施主体) 宮崎県小林市
(実施期間) 平成 23 年度

(基金事業メニュー) 普及啓発・人材育成事業
(実績額) 平成 23 年度 2497 千円

【事業の背景・必要性・目的】

小林市の属する西諸地域は、従来から自殺死亡率の高い地域であり、平成 21 年における自殺死亡率は 61.4 である（全国平均は 24.4）。小林市の自殺者の状況を男女別割合で見ると、平成 22 年では、男性 64%、女性 36%と全国平均に比べやや女性の比率が高くなっており、年齢区分で見ると 40 代、50 代、80 歳以上では男性の割合が高く、60 代、70 代では女性の割合の方が高くなっている。

西諸地域は、地域性として、「自殺」という言葉に対する市民の抵抗感も強く、偏見があり、「自殺は仕方がない」という認識もあった。また、地域の特性として、弱音を吐かない、助けを求めることは恥ずかしいという認識がある。

このような中、広く市民の方に自殺の現状と予防に関する知識、自殺を考えている人への対応方法等の周知、自殺未遂者対策、自死遺族支援を行い、一人でも自殺者を減らすことを目的として事業を実施した。

また、小林市の自殺対策に対する取組は、小林保健所が 18 年度より西諸地域に対して取り組んできた活動を軸にして展開している。

【事業の内容】

一次予防の取組：自殺予防に関する知識の普及啓発、傾聴ボランティアの養成、ゲートキーパーとして「こころの健康サポーター」の養成
地域づくりとして、NPO法人こばやしハートムによる「茶飲ん場」（高齢者を中心に、誰でも気軽に寄ることが出来るサロン）を開設。小林市内に 4 か所開設

二次予防の取組：前期高齢者受給者証発行時、地域サロン参加者、乳幼児健診に参加した保護者にうつスクリーニングを実施し、ハイリスク者に対して訪問指導を行う。

三次予防の取組：遺族会支援

こころの健康サポーター事業の様子



【事業実施に当たっての運営体制等】

宮崎県小林市では、小林市役所、小林保健所、NPO法人こばやしハートムが連携し、自殺対策の推進に当たっている。

市の役割：市民の意識を変えるための普及啓発事業や自殺のリスクの高い方への支援等

保健所の役割：専門家向けの研修会や自殺未遂者の支援など、専門的なスキルが必要となるもの

NPOハートム：地域に根差した地域住民の意識を変えていくための活動

【事業の成果、工夫をした点、その他特筆すべき点】

自殺対策の成果としては、対策が始まった当初より、「自殺」という言葉に対する市民の意識の変化が感じられる。自殺死亡率はまだまだ高い状態ではあるが、自殺者数は平成15年の32人から平成23年は23人となった。

(問合せ先) 宮崎県小林市健康推進課

TEL:0984-23-0323

E-mail:K_yobou@city.kobayashi.lg.jp

URL: <http://www.city.kobayashi.lg.jp/>